

外国語科（英語）学習指導案

日 時 令和8年2月5日（木）

第5校時 13：30～14：20

学校名 杉並区立泉南中学校

対 象 第1学年A組基礎クラス 12名

会 場 3階第1学年A組教室

授業者 教諭 山下 洸

1 単元名 Unit7 The New Year in Japan

(MITSUMURA TOSHIO「Here We Go! English Course 1」)

2 単元の目標 冬休みの出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書くことができる。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①一般動詞や be 動詞の過去形の文の意味・形・使い方を理解している。 ②一般動詞や be 動詞の過去形の文の理解をもとに、過去の出来事や気持ちについて伝え合ったり、たずねたり答えたりする技能を身に付けている。	①冬休みの出来事について、伝えたい情報を整理して、友達に話すことができる。 ②冬休みの様子をこれまで英語を教えてくれた先生に伝えるために、伝えたい情報を整理してはがきを書いている。	①冬休みの出来事について、伝えたい情報を整理して、友達に話そうとしている。 ②冬休みの様子をこれまで英語を教えてくれた先生に伝えるために、伝えたい情報を整理してはがきを書こうとしている。

4 単元設定の理由

本学年の生徒は、小学校入学当初より「書くこと」に関して高い苦手意識をもっている。そのことから、まずは基礎学力定着と4技能の向上を目指して、4月より「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」をローテーションで行う単元ごとラウンド方式に取り組んできた。また、単元末の目標として1学期、2学期は話すことをメインに、補助活動として話した内容を書き起こす活動に取り組んだ。それらを踏まえ、3学期は1年間のまとめとして、苦手意識を払拭した状態で「書くこと」に関する活動に取り組むことができると考え、本単元を設定した。

5 生徒の実態

本学級は12名の少人数クラスで、ペア活動やグループ活動には積極的に取り組む姿勢が見られる。特に、ペア活動では英語で話そうとする意欲があり、簡単な表現を使ってコミュニケーションを図る様子が見られる。一方で、文法やスペリングの誤りが見られ、be動詞や複数形での are の使用に苦手意識をもつ生徒が多い。語彙面では、直近で学習した単語については使用できるものの、基本的な語彙の習得には課題がみられるため、集中を維持するための支援をする。また、安心して英語を使える雰囲気づくりと、既習事項を活用した発話の支援をする。

6 単元の指導計画（全11時間扱い）

	目標	学習活動	人権教育に関わる留意点等
第1時	一般動詞(過去形)の肯定文の意味・形・使い方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新出文法導入 ・口頭練習 ・週末の出来事についてペアで会話する。 	教師との対話を通して、一般動詞の過去形における音や語形の違いへの気付きを促す。
第2時	一般動詞(過去形)の疑問文と否定文の意味・形・使い方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新出文法導入 ・口頭練習 ・週末にしたことについてペアで会話する。 	ペア活動等で疑問文と否定文を繰り返し活用させることで、実際のやり取りの中で形と意味の定着を図る。
第3時	be 動詞(過去形)の疑問文と否定文の意味・形・使い方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新出文法導入 ・口頭練習 ・週末にしたことについてペアで会話する。 	be 動詞の過去形について音的特徴に着目させ、音からの気付きを通じて正確に活用できるようにする。
第4時	イラストから予想しながら、ストーリーのおおまかな内容をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーカードの並び替え 	オーラル・イントロダクションを用いてストーリーへの関心を持たせ、内容を自分事として捉えさせる。
第5時	文字と音を一致させながら、ストーリーのおおまかな内容をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・セリフの並び替え 	生徒の理解状況に応じて音声再生速度を段階的に調整し、聴解負荷を適切に管理する。
第6時	単語の意味と本文の内容の詳細を理解し、音読することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・音読活動 	音読において音の連結・リズム・イントネーションを意識させ、意味単位に即した音読を徹底する。
第7時	登場人物の気持ちを考えながら、登場人物になりきって音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・音読活動①（復習） ・音読活動② 	登場人物の心情に関する発問を通じて、感情を込めた抑揚や間の表現が可能となるよう音読指導を行う。
第8時	文や単語の意味を理解しながら、本文の内容を書き写すことでより内容の理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・音読活動 ・本文書き写し 	書き写しをする際に、発音を同時並行で実施し、音と綴りの対応関係を意識させる。
第9時	本文の内容について、写真を見ながら自分の言葉で説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本文内容について、自分の言葉で会話する。 	リテリングを実施する前にキーワードを共有し、自分の言葉によるリテリングが可能となるよう指導する。
第10時 (本時)	自分の冬休みの出来事や気持ちについて、友達に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの出来事について、ペアやグループで伝え合う。 	ペア活動やグループ活動を通して、外国語で表現したり、伝え合ったりする力や実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を育成する。
第11時	自分の冬休みの出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの出来事について、はがきを書く。 ・単元の振り返り 	はがき作成後、振り返りシートで過去形・語彙の気づきを言語化し、ライティングに活かす具体的な改善点を設定させる。

7 人権教育の視点

冬休みの出来事について表現する活動を通して、外国語で自分の言いたいことを表現したり、伝え合ったりするなど、コミュニケーションにおいて活用できる技能を育成する。

8 本時の展開（全 11 時間中の第 10 時間目）

(1) 本時の目標 自分の冬休みの出来事や気持ちについて、友達に伝えることができる。

(2) 本時の展開

時間	○学習活動 ・予想される生徒の反応例	・人権教育に関わる留意点等
導入 (10分)	<p>○前時の復習</p> <p>○教師とインタラクションしながら本文内容を思い出す。ピクチャーカードを使って自分の言葉で説明する。話した内容をワークシートに書き起こす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Happy New Year!」 ・「He was ○○. She was ○○.」 ・「He is ○○. She is ○○.」 <p>○本時の目標を板書で共有する 「自分の冬休みの出来事や気持ちについて、友達に伝えることができる。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒からキーワードを引き出し、黒板に板書する。 ・間違いを恐れずに、たくさん書くことを伝える。 ・書けない単語は、音から判断して書き起こさせる。 ・既習の現在形を活用してしまう生徒には、What did he do? など、過去の出来事に注目できるような質問をする。
展開 (35分)	<p>○自分の冬休みの出来事や気持ちについて、ペアやグループで伝え合う。</p> <p>①教師が冬休みの出来事について話し、2～3人の生徒とインタラクションしながら、全体に共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「部活、、、Club activity!」 <p>②自分の冬休みの出来事や感想などをペアで伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「I visited my grandparents' house.」 ・「I ate rice cake.」 ・何を言えばいいか分からず沈黙する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で話をするように促す。 ・相手に伝えること、伝わることを大切にさせる。 ・間違いを恐れずに、たくさん話すこと、また、間違いを受け入れる姿勢や、安心して挑戦できる雰囲気づくりをする。 ・思考中であることを伝える表現 (Let me see./Well…等) や聞く側の生徒がサポートできる質問 (Where did you go?等) を伝えるなど、対話が続くよう事前に指導する。 <p>アー① 一般動詞・be 動詞の過去形を用いて、自分の出来事を2文以上で表現できる。(活動の観察)</p> <p>イー② 相手の発話に対して適切</p>

	<p>③自分の冬休みの出来事や感想などをマッピングシートに書き出し、伝えたい情報を整理する。</p> <p>④マッピングシートを見ながら、自分の冬休みの出来事やその感想などをペアで伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッピングシートを見ながら、単語をつなげて冬休みの出来事を伝えようとしている。 ・「I eated osechi.」 <p>⑤マッピングシートを見ながら、自分の冬休みの出来事や感想などをグループで伝え合う。</p> <p>⑥2～3人程指名し、全体で発表させる。</p>	<p>な応答や追質問（例：Where did you go? / Why?）ができる。（活動の観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッピングシートは文ではなく、キーワードで書かせる。 ・ペア活動を通して練習することで、その後のグループ活動で発表する心理的ハードルを下げる。 ・できるだけ既習事項を使用させるようにする。 ・相手が理解できるように工夫することを伝える。 ・不規則動詞の過去形を過剰一般化してしまう生徒には、リキャストにより意味交渉を妨げず、正しい形への気付きを促す。 ・後で見返せるように、動画を撮影させる。 ・分かりやすい伝え方をしていた生徒を教師が選び、指名する。
<p>まとめ (5分)</p>	<p>○本時の内容についてまとめる。</p> <p>○Reflection sheet に本時の振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの出来事について、伝えることができなかった英語表現等を Reflection sheet に記入している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことや次回に向けた改善点だけでなく、「言いたかったけれど英語で言えなかった言葉」も記入させる。